

# 石塚(水戸) 制す 柔道男子 無差別級

関東高校大会 県予選

関東高校大会県予選は、康太郎(水戸啓明)が優  
8日、各地で行われ、柔勝。女子は70kg級で畠石  
道は男女の個人戦があ 香花(土浦日大)が頂  
り、男子無差別級は石塚に立ち、48kg級は湯浅天



〈男子個人無差別級決勝〉間合いを凶る水戸啓明・石塚―県武道館

## 課題克服、納得の内容

○：無差別級で統一されている柔道男子個人を制したのは、3月の全国高校選手権で個人90kg級に出場し、3回戦まで進んだ石塚康太郎(水戸啓明3年)。  
準決勝、決勝とも1階級上の重量級との対戦となったが、「大きい相手には常に先に動いて自分の形にしなければならぬ」と立ち向かった。決勝では、互いに相手をがっちりつかんだが、技が出ず両者に指導。すると残り2分40秒で、「技に入るタイミングを計っていた」と話す背負い投げが決まり技あり。その後も積極的に技を掛け続けて頂点に立つと、「連休中の遠征で励んだ課題克服の成果が出せた」と納得の表情を見せた。  
チームメイトで最大のライバルでもある櫻村将伍(3年)がけがで欠場。「彼の分までしっかりと戦った」と胸を張った。

子(水戸葵陵)、52kg級は赤荻(総和)、57kg級は酒井(土浦日大)、63kg級は飯田(土浦日大)、78kg級は河内(雪乃)(水戸啓明)、78kg超級は大塚真由(土浦日大)が制した。サッカーは鹿島、明秀

柔道 (県武道館)



【男子】  
石塚 優勝  
個人無差別級決勝  
優勢長山(同) 橋本(水戸葵陵) 優勢松本(土浦日大) 坂本(同) 優勢酒林(同)

【女子】  
湯浅 優勝  
48kg級決勝  
優勢松本(土浦日大) 坂本(同) 優勢酒林(同)

一本背負い大武(水戸葵陵)、森(総和) 返し権塚(くは秀英)  
同決勝  
赤荻 けさ面 森

酒井 腕ひし 三 橋  
同決勝  
63kg級決勝 飯田(土浦日大) 大内(八千代) 大久保(水戸啓明) 優勢中川(土浦日大)  
同決勝  
飯田 上四方 大久保

## 畠石(土浦) V 女子70kg級

### 苦手寝技で果敢に一本

○：女子個人70kg級決勝で畠石香花(土浦日大1年)が横四方固めで一本勝ち。今大会初優勝となったが、「県優勝は通過点。世界で戦える選手になりたい」と大舞台を見据えた。  
決勝はあえて苦手の寝技で勝負しようとして決めた。果敢に攻め、横四方固めで一本を取った。課題の寝技で勝てたことは収穫だが、「まだまだ習得できていない」と不満げ。神奈川の相原中時代に全国優勝し、土浦日大に入学したのも寝技を鍛えるため。オリンピック選手も輩出する名門で、寝技も立ち技も強い、隙のない選手を目指す。  
4月に行われた全日本カデ選手権で優勝し、8月にアメリカで行われる世界カデ選手権の出場権を手に入れている。「目指すは世界」と意欲を燃やした。

〈女子70kg級決勝〉土浦日大・畠石が横四方固めを決める―県武道館

70kg級決勝 畠石(土浦日大) 約り込み腰寺門(水戸葵陵) 山本(同) 上四方固め高橋(年久)  
同決勝  
畠石 横四方 山本  
78kg級決勝 関(水戸葵陵) 後(けさ面) 打越(水戸葵陵) 河内(水戸啓明) 一本背負い投げ吉田(多賀)  
同決勝  
河内 背負い 関  
78kg超級決勝 大塚(土浦日大) 大外(秀英) 磯原(大久保) 目立(出足) 川上(那珂)  
同決勝  
大塚 横四方 大久保

※男女各階級上位者が関東大会(6月1、2日・山梨)に出